

平成30年11月8日  
東北経済産業局

## 陸上自衛隊東北方面隊との間で、災害時の石油輸送力を強化

～みちのくALERT2018で石油製品輸送支援訓練を実施～

東北経済産業局は、大規模災害対処訓練「みちのくALERT2018」において、陸上自衛隊東北方面隊とともに、岩手県石油商業組合、宮城県石油商業組合、東西オイルターミナル株式会社、株式会社角登商店、カガク興商株式会社の協力を得て、広域・大規模災害に備え、石油製品輸送の体制強化に向けた訓練を実施します。

### 1. 背景とねらい

平成23年3月の東日本大震災時には、石油製品の輸送・給油が困難となった地域が多数発生しました。その経験を踏まえ、資源エネルギー庁と防衛省では、①より確実な自衛隊向け石油製品供給体制の確立や、②自衛隊による民生用石油製品輸送支援の実施について検討を重ね、平成26年、陸上自衛隊東北方面隊の実行動による方面隊震災対処訓練（みちのくALERT2014）において、燃料輸送の実働訓練を実施しました。

当局では、この訓練により得たノウハウをさらに充実させるため、平成27年から平成29年まで、東北各県において陸上自衛隊と実働訓練を実施してきましたが、平成30年度は、みちのくALERT2018において次のとおり実働訓練を実施します。

### 2. 訓練の概要

#### ① 訓練実施日：平成30年11月10日（土曜日）

三陸沖を震源とする大規模な地震の発生を想定し、東西オイルターミナル株式会社八戸油槽所（八戸市）、株式会社角登商店河南給油所（宮古市）の施設を利用し、訓練を実施します。

具体的には、石油製品を供給する民間の燃料供給拠点において、自衛隊輸送力でなければ輸送する事が出来ない限定的な場面（被害状況により民間ローリーの補給が出来ない場面）を想定し、民間の油槽所（東西オイルターミナル株式会社八戸油槽所）から、孤立した民間のSS（株式会社角登商店河南給油所）に、自衛隊燃料タンクローリー車を活用した輸送支援訓練を実施し、石油製品を確保・搬出する手順を訓練・確立します。なお、この訓練は岩手県総合防災訓練と同時開催となります。

#### ② 訓練実施日：平成30年11月11日（日曜日）

三陸沖を震源とする大規模な地震の発生を想定し、カガク興商株式会社油槽所（石巻市）、東松島市デジタル同報系防災行政無線中継所（東松島市）の施設を利用し、訓練を実施します。

具体的には、災害時の重要施設において、自衛隊輸送力でなければ輸送する事が出来ない限定的な場面(被害状況により民間車両の補給が出来ない場面)を想定し、民間の配送拠点(カガク興商株式会社油槽所)から、孤立した施設(防災行政無線中継所)に、自衛隊燃料タンクローリー車を活用した輸送支援訓練を実施し、非常用電源用燃料を輸送する手順を訓練・確立します。

※ 取材を希望される場合には、平成30年11月8日(木曜日)18時00分まで、東北経済産業局資源・燃料課までお問い合わせ・お申し込みください。 事前登録のない場合は、当日の入構をお断りする場合がございます。取材先によっては取材制限エリア等がありますので、当日は係員の指示に従って取材いただきますので、予め御了承ください。



自衛隊燃料タンクローリー車

(本発表資料のお問い合わせ先)

東北経済産業局資源エネルギー環境部資源・燃料課長 田中 祐正

担当者: 齋藤 健、大黒 麻理

電話: 022-221-4934(直通)

022-213-0757(FAX)